

1月号

ニュースレター

あすか

通算320号



2020年1月10日

# 「ともに生き、ともに輝く」年に

理事長 高橋勲

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。暖冬のお正月、みなさまいかがお過ごしになられたでしょうか。私はヒマラヤ好きの友人に誘われ、8日間のエベレスト街道のトレッキングに挑戦してきました。

ネパールの首都カトマンズ(標高1300m)から空路ルクラ(2840m)に向かい翌日からトレッキングの開始。シェルパ族が多く住むナムチェバザール(3440m)まで600mの標高をゆっくりと登っていきました。翌日はさらに400メートル高度を上げ標高3880mのシャンポチェの丘に辿りつきました。そこからはエベレスト、ローチェ、アマダブラムなど8000メートル級の山々が連なるヒマラヤの大パノラマを楽しむことができました。夕方には夕焼けに染まったエベレスト山群の中で最後まで赤く輝いていたエベレストに強烈な感動を覚えました。

トレッキングとは山あいの生活路を辿って村々を歩く山旅のことです。田舎の村には電気の供給が十分ではなくトレッカー相手のロッジではこの時期トイレの水も凍るため、前夜にトイレと翌朝の洗面のために水を入れたバケツと柄杓、そしてポットに入れたお湯を配ってくれました。テレビもラジオもなく、氷点下10度以下の外気温のなかで夜は電気毛布にもぐり湯たんぽを抱えて寝る毎日でした。空には満天の星が輝き、早朝にはニワトリの鳴き声が響き、子どもたちは人懐こい笑顔でトレッカーたちに向けてくれます。

現代の文明社会が失った原風景を体験した旅でしたが空路30分離れた首都カトマンズに辿りつくと、通りの店も車も埃にまみれ、信号もほとんどなくマスクをした警官が昔ながらの手振りで交通整理をしていました。埃とスモッグだらけの街は若者であふれかえり発展途上の勢いを感じ昔の日本にもこんな熱気があったことを思い出しました。

今年は、東京オリンピック、パラリンピックの年です。56年前の東京オリンピックの記憶は遠くなりましたが、大松監督率いる女子バレーボールチームとロシアとの決勝戦、世界に体操ニッポンを轟かせた競技の数々など今も脳裏に焼き付いています。そしてこの大会で実証した日本の高レベルの技術はこれから技術大国として大きく成長することを予感させる時期でもありました。貧しいながらも人々は夢と希望を抱き必死に働き、学んだ時代だったように思います。

(次頁へ続く)



12月31日、エベレストを望むシャンポチェの丘で。(後ろに写る白い山の左側がエベレストです。)



## 医療法人あすかの経営理念 『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

## 【目次】

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1.新年のごあいさつ①     | 1 |
| 2.新年のごあいさつ②     | 2 |
| 3.新年のごあいさつ③     | 3 |
| 4.2020年今年の漢字一文字 | 4 |
| 5.2020年今年の漢字一文字 | 5 |
| 6.2020年今年の漢字一文字 | 6 |
| 7.2020年今年の漢字一文字 | 7 |
| 8.2020年今年の漢字一文字 | 8 |

## 「ともに生き、ともに輝く」年に

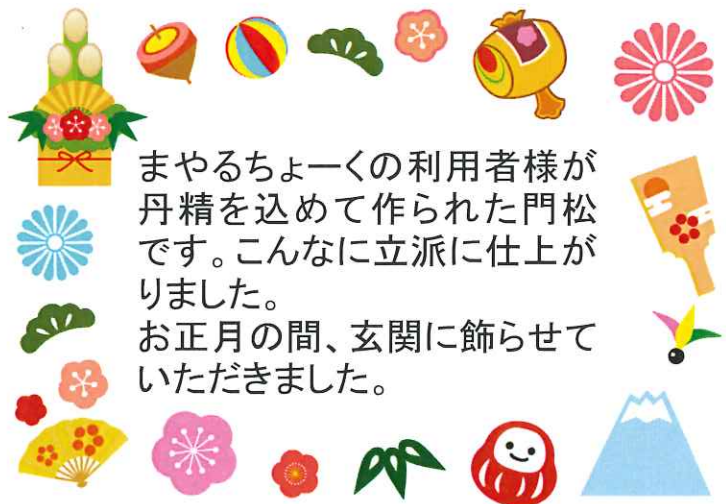


トレッキング参加者とシェルパ、ポーターと

あれから56年後の今年、ふたたび東京でオリンピックが開催されます。急速に進む少子高齢化、硬直した産業構造、社会構造により今や世界の潮流から置き去りにされかねない状況の中での開催になります。

東京オリンピックの大会ビジョンは「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)、一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)、そして未来につなげよう(未来への継承)」です。日本の将来においても、医療法人あすかにとっても今年は大変な転換期となります。東京オリンピックの大会ビジョンはまさにあすかでのビジョンでもあります。あすかでも国籍、年齢、職種も多様化しています。健全な経営のもとでよりよい環境づくりをしていくにはすべての職員がゴールを共有し全力で働き、知恵と寛容で多様性を力に変えていくことなくしては叶えられません。未来への継承もいっそう進めていきたいと思えます。新しい発想、知識、技術を学び続けなくてはなりません。これらを成し遂げるためにもっとも大切なのは「人の力」です。

毎日新聞が募集した東京五輪・パラキャッチフレーズは1473点の応募の中から「ともに生きる。ともに輝く」が選ばれました。あすかの社是と同じです。この言葉をしっかりと心に留め2020年を飛躍の年にしたいと願っています。



# 新年のごあいさつ



あすか療養センター  
センター長 大北 和彦

2020年 あけましておめでとうございます。最近数年間は毎年のように大きな災害に見舞われ、日本中が混乱に満ち溢れ、日本のあちこちで地殻変動が起きました。どこかに原因があるかと推測されますが、世界中の英知を集めて原因究明に当たり、平穏な世界の回復を取り戻すことができるよう祈っています。

さて、私どもの現場の状況に目をおとすと、寿命は延びたものの、少子化は依然として重要な問題として残り、いびつな人口構成となり、そのための弊害が次々と顕在化しています。みんなが原点に返ってしっかりと話し合うことも大切ではないか、と愚考します。

今の世の中で私どももできることは少しでも、ハンディキャップのある人たちへの支援かと考えています。そのためにはその地域に住む人たちの思いやりの共有ではないでしょうか？その一助となるよう、努力を惜しみません。



高橋内科小児科医院  
内科外来 医師 高橋 祐輔

新年、あけましておめでとうございます。昨年とは地域の方々、患者様ならびに家族様方には大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の活動報告と今年の抱負について一言申し上げます。昨年は訪問診療事業を立ち上げました。

《通院が困難でもご自宅での生活を続けた》  
《退院後の自宅での生活が不安》  
《人生最期の時を家族と一緒に住み慣れた家で過ごしたい》  
《そのようなニーズに答えるべくご自宅に訪問し、診療を行うのが訪問診療です。》

訪問診療では通常月に2回程度、患者様のご自宅に訪問し、お話や診察のあと必要に応じて検査や処方箋の発行を致します。

昨年立ち上げた訪問診療ですが約1年経過した現在では約20人の患者様のご自宅に訪問し医療を提供しています。

この1年で私、高橋祐輔が感じた訪問診療ならではの魅力を少々語らせてください。

①患者様と向き合う時間がある。  
忙しい外来では患者様お一人おひとりと向

き合う時間を確保することが困難ですが、訪問診療では比較的ゆっくりと患者様、家族様とお話する時間があります。

②本場に必要ない時に手を差し伸べる。  
診療所が提供する外来の医療では本当に大変な時に患者様の役に立てないことがしばしばあります。

《肺炎やインフルエンザになり動けない》  
《夜間や休日に体調を崩した》  
《そのような時に診療所を受診するのは困難です。訪問診療では訪問看護ステーションと連携して本場に大変な時、本場に困っている患者様のお役に立てるよう24時間体制で対応しております。》

③総合的な診療を提供する。  
高齢化が進み多くの患者様が複数の診療科にかかることが多くなってきました。

これまで私が勤務していた八尾徳洲会総合病院や、大阪大学では総合診療科医としてそのような患者様の診療に数多く携わってきました。その場合、各専門科のお医者さんと相談しバランスを取りながらその患者様の状態に合った医療を提案し提供できます。

④チーム医療を提供する。  
残念ながら、現代の高齢者の健康問題は複雑化してきており、薬や手術など医療のみで解決できるほど簡単ではありません。私たちは医師、ナース、ケアマネ、リハビリ、デイサービスなどの通所、入所サービスなどと連携し、患者様、家族様の健康と生活を支えます。

以上、訪問診療について少々熱く語らせていただきました。今年もより多くの患者様の役に立てるよう精進して参ります。皆様どうか今年もよろしくお話し申し上げます。

# 2020年 今年の漢字一文字



## あすか訪問看護ステーション

あけましておめでとうございます。今年は各事業所の目標を漢字一文字で表現いたしました。

- ①漢字一文字
- ②選んだ理由



## レジデンス・ヘルパー



- ①『安』
- ②安心して、安全・安楽に在宅生活を続けられるよう私たちが支えています！

## 通所リハビリテーション すてっぷ



- ①『新』
- ②職員もフレッシュなメンバーが増え、気持ち新たにご利用者とリハビリに取り組みで行きたいと思えます。

- ①『合』
- ②レジデンスのサービスは、利用者様をサポートする為に、医療・看護・介護サービス事業所、ケアマネジャー、薬局、歯科、厨房、ボランティア・・・様々な職種の人に関わる事業所です。お互いが話し合、気持ちを合わせ、心が通い合うサービスを提供していきます。

## 通所リハビリテーション 野の花



## 小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家



- ①『家』
- ②今年の漢字一文字は、まさしく「つどいの家」の家です。家族のような存在、自分の家のような存在であり続けられるように、今年も職員一丸となって頑張っていきます。イエーイ！！(かけてませんよ～)

- ①『力』
- ②思考力・観察力・行動力・・・を更に磨き、魅力ある野の花に。ご利用者の縁の下の力持ちとなれるように力いっぱい頑張ります。

デイサービスセンター あすか大町



①『増』

②ご利用者様の笑顔が更に増える  
ご利用者様の楽しいと感じること昨年よりが増える  
ご利用者様が幸せだなと感じる事が増える職員の  
やりがいが増える

デイサービスセンター しゅりあちよーく



①『力』

②職員一人一人の力を合わせて、大きな  
チーム力とし、利用者様の底力となるよう支  
えていきます。

あすか居宅介護支援事業所



①『丸』

②毎日自分に丸(○)がつけられるように、  
そしてケアマネジャーが丸(一丸)になって  
力を合わせて前進できるようにしていきた  
いと思います。



通所リハビリデイ ポシブルみどりい



①『和』

②令和の時代に、医療法人あすかとポシブル医科学株式会社、職員と利用者さん互いに相手を大切に、協力し合うことで、人の和を広げ、交わって行く(交流が盛んになる)ことで、調和がとれる環境を整えていきます。

リハビリデイサービスであっても、リハビリだけではなく、社是・クレドを元にやさしさと芯を持った対応で、皆さんの可能性(ポシブル)を引き出してまいります！！

デイサービスセンター まやるちよーく



①『忠』

②意味～ねずみ年→鳴き声→ちゅ～→「忠」  
忠は「ただしい」「まごころ」「まめ」の意味があります  
介護への「正しい」知識・利用者様への「まごころ」を忘れず・「まめ」に動きます

ショートステイ みどりい



①『**穩**』

②目標に向かって、急がず、余裕、冷静さをもって日々取り組んでまいります。

ショートステイ いわや3F



①『**和**』

②毎日和やかに、協力し支え合いながら思いやりのある事業所にしていきます

毘沙門クリニック



①『**輪**』

②毎日和やかに、協力し支え合いながら思いやりのある事業所にしていきます

ショートステイ あすか大町



①『**基**』

②2019年はプログラムや生活など利用者様が楽しめるよう色々なことを行いました。利用者様の気持ちの添ったケア「基本にかえり見直す」という意味で選びました。知識・技術やマナーを自分自身見つめなおし、努力していこうと思います。

ショートステイ いわや2F



①『**笑**』

②利用者さま、職員みんなが笑顔溢れる一年に。職員はどんな時も笑顔で過ごします。大きな笑いを届けていきます。



あおぞら保育園



- ①『体』
- ②体幹を鍛える!! 体カづくり!!

病児保育室



- ①『抱』
- ②・相手の心を掴み取る  
・チャンスとスキルを掴む



ぱる相談室



- ①『礎』
- ②子どもの成長・発達・保護者の方の子育て・児童発達支援・放課後等デイサービスの療育を支える土台になる事業所を目指します。



ぱるひよし



- ①『新』
- ②年も変わり、メンバーも変わり…すべてが新しく生まれ変わったぱるひよし！新しい気持ちで何事にも挑戦していきましょう！という理由で選びました。

ぱるびしゃもん



- ①『彩』
- ②十人十色。一人ひとりみんな違ってみんないい！それぞれの良さや持ち味で彩り豊かな事業所にしていきたいという思いで選びました。

高橋内科小児科医院 外来



- ①『気』
- ②今年も元気いっぱい 気合を入れて頑張ります！

事務



- ①『笑』
- ②いつも笑顔を忘れずに！  
笑う門には福来る！  
困ったときは微笑みがえし！



総務

- ①『調』
- ②体調を整え健康的にスリム化をめざします  
協働協調によって進む一年となるよう努力します



医療法人あすかの関連施設

緑井3丁目20・1

あすか居宅介護支援事業所

082-83015177

リハビリデイ・ポシブルみどりい

あすか病児保育室

児童デイサービス ぱるみどりい

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター

通所リハビリテーション すすつが

シヨートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

昆沙門クリニック

シヨートステイ いわや

通所リハビリテーション 野の花

緑井2丁目11・11・102

あすか訪問看護ステーション

昆沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター

しゅりあちよーく

あすかケアプラザ 中須1丁目26・12

ヘルパーステーション あすか大町

デイサービスセンター あすか大町

シヨートステイ あすか大町

サービス付き高齢者向け住宅 レジデンスあすか

あおぞら保育園

昆沙門台東1丁目24・16

児童デイサービス ぱるびしゃもん

緑井2丁目9・31・102

児童デイサービス ぱるひよし

緑井2丁目9・31・101

相談支援事業所ぱる

“ニューズレターあすか”は  
6 当法人のホームページ上でも見ることができます  
全編カラーで掲載しておりますのでぜひご覧ください  
<http://www.asuka-net.or.jp>



医療法人あすか

Mail: asuka@smail.plala.or.jp

〒731-0103 広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL: 082-879-3143 FAX: 082-879-3190

(編集: 今中 峰三子 澄川 幸子)

【編集者のつぶやき】

新年、明けましておめでとうございませう。  
2020年がスタートしました。東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される本年は、格別な年になるかと思われませう。  
私自身、オリンピックを見るのは一生のうち一度のチャンスかと思ひ、チケットに応募しました。なんと、バレーボール予選のチケットに当選しました。開会式は見る事はできませんが、オリンピックの雰囲気味わえるチャンスと思ひ、今から心がワクワクします。楽しみに向けて日々、仕事に精進いたします。